

やつぱり雨！こぶしキャン

こぶしのキャンは、裏
警梯原湖畔マキヤン
場にて七月二四、二五日の
一泊二日で行われまし
台風四号が接近し、雨
降るかどうか天気心配
中、出発しました。途中
東道が事故のため通行止
めになり、白河ICで高速
道を使い降りて後は一般
を湖に到着した。途中、猪
代湖畔で昼食をとり、キ
ンプ場に到着したのは午
四時。雨が降りだした。心
ぱり！八重のあちやんは
名物の八重のあちやんは
いさつをして入村式は行
ず、仲間は各自のバンガ
、に分かれ、保護者、職員
備に取りかかりました。準
雨の中、キャンプファイ
やの木の組んだり、煙に
むせて泣きながらお肉を焼
いたり、調理場に雨が吹き
込まないよう、バンガロー
と調理場の間にシートをは
つたりと、みんな雨と涙で
びしょ濡れになりました。
夕食は調理場近くのバン
ジューズを集まり、ビール
をとり、その後は各自のバ



ンガローに分かれて交流会
となりまし。午後六時こ
ろから交流会になったので
、いろいろと話ができた。こ
しては見られない仲間の一
面が見られてよかったです。
翌朝、台風が接近してい
るので、少し早くこぶ
しに帰りたい！という朝
持ちから六時前から朝
食の準備にとりかかり、朝
食を食べながら帰る準備を
始めました。八時半ころキ
ヤンプ場を出発し、那須
サンプラザで休憩し、須
お昼過ぎにこぶしに到着し
ました。
ママキャン場は管理人
の八重はあちやんが管理し
る。正面には檜原湖が広
がり、警梯山が
そびえ、景色が
良いところなの
で事故と雨がな
ければ楽しいキ
ヤンプになった
だろうと、後悔
しつつ、もう一
度行ってみたい
キャンプ場です
(田島 勝信)

「自立の時代をむかえて」

福社現場に働
いでもう二年近
くなり障害者
の間、障害者
の変わり方が
思っている。こ
り、それは、街
へと通う姿が
に障害者として
信をやること、
人を注意深く見
わめ、その深き
障害の色をだし
て、せながら通
わね、彼等が働
ていることは、仕
事、本、か、わ、つ
と、この瞬間、こ
と、こう、瞬間、こ
言葉を変えた風
シ、オン、の、浸透と

か、共同作業の増大とい
う。そこ、この変化の過程に
。障害者、家族、その関
は、苦言、あつたこと、想
ない、難くないこと、経験
像に、障害者運動の経験
入所施設、地域のなか
つ、な、社会、背負つて、
れ、な、生きている。障害者
労働、は、生き、いる。障害
姿、は、ま、り、わ、ける。障
害、を、注、意、深、く、見、
わ、め、な、さ、し、た。充、
感、を、分、か、り、合、う、
ま、し、た。充、分、感、は、
の、よ、さ、も、充、分、感、は、
感、を、分、か、り、合、う、
せ、ん、な、さ、し、た。充、
感、を、分、か、り、合、う、
ウ、ン、の、近、く、で、よ、く、
リ、解、る、の、信、感、は、
横、断、歩、道、を、渡、る、の、
め、て、渡、り、ます。彼、
と、育、園、の、前、で、泣、き、
で、保、育、園、の、前、で、泣、き、

を、思、い、出、し、ま、す。私、は、
で、な、く、も、首、す、じ、の、さ、
い、な、仕、事、に、急、ぐ、さ、り、
う、な、仕、事、に、急、ぐ、さ、り、
し、た。健、常、児、で、あ、り、
の、に、ま、し、て、障、害、を、持、
わ、が、子、を、街、の、中、へ、少、
の、は、親、に、と、つ、て、言、い、
め、複、雑、な、心、境、で、あ、り、
と、察、せ、ら、れ、ま、す。完、全、
加、と、平、等、と、い、う、口、
ン、は、親、に、含、む、も、の、
思、い、を、内、に、含、む、も、の、
も、つ、ら、い、け、ど、み、ん、な、
ら、れ、な、い、目、標、に、手、を、
一、歩、一、歩、が、さ、み、し、め、
分、の、す、べ、て、の、障、害、者、
つ、く、す。が、な、ら、ず、年、
う、た、ち、が、誓、わ、な、く、は、
この中、の、こ、ろ、で、は、な、い、
思、い、な、

はじめまして！ヨロシクおねがいます



「けやきの仲間」
松山 竹土君 (一六才)

今年、益子養護学校中等
部を卒業した。まだ、ど
けな、い、い、た、さ、ら、盛、り、
お、じ、ろ、う、さん、(仲、間、に、
お、じ、ろ、う、さん、)入、所、し、
呼、ば、れ、て、い、る、(仲、間、に、
お、じ、ろ、う、さん、)入、所、し、
ば、な、か、つ、た、の、が、今、で、は、
み、な、か、つ、た、の、が、今、で、は、
み、な、か、つ、た、の、が、今、で、は、
み、な、か、つ、た、の、が、今、で、は、



(単語や歌を口にして)
「といて追いかける」
向田 英治君 (一七才)

入所したばかりの緊張
と、人見知り、声を出さ
ず、あ、ま、り、で、な、か、つ、
と、人見知り、声を出さ
ず、あ、ま、り、で、な、か、つ、
と、人見知り、声を出さ
ず、あ、ま、り、で、な、か、つ、



森下 あゆみさん (一六才)



バザー

恒例のチャリティ
バザーの時期が近づ
いてきました。二荒
山神社からも正式に
許可も下り、いよいよ
準備に取りかかり
ます。みなさまの協
力をお願いいたしま
す。期、日、
一〇月一七日(日)
場所、二荒山神社境内
会場、おの／＼実行委
員会を開催します。

三日(金)	けやき
四日(土)	職員会議
八日(水)	こぶし
一〇日(金)	バザール
一日(土)	実行委員会
二八日(土)	けやき後援会
二五日(土)	職員会議
二六日(日)	バザール

障害者問題はそれこそ社
会問題が凝縮されたもの
である。それ故、仲間と
道程も、それ故、仲間と
し、よう。それが、仲間と
べ、き、人、た、ち、が、手、を、
な、い、の、も、並、大、抵、の、こ、
だ、か、ら、こ、そ、障、害、者、の、
の、過、程、で、私、た、ち、大、人、も、
れ、ま、せ、ん。

(高橋 温美)